

※お名刺交換させていただいたお客様には、
もれなく当社オリジナルクラックスケールを差し上げます

3D現況測量



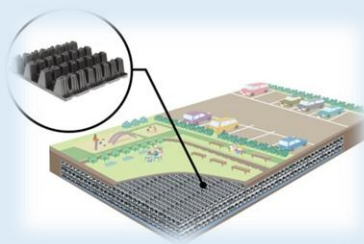
3D点群データ取得による2次元平面図作成

- ・ 図面表示以外のレベル情報保有
- ・ 任意箇所断面抽出可能
- ・ BIMの現況データ取得
- ・ 既存建物現況測量

平面図・立面図・断面図作成



開発設計・雨水排水設計・土木設計

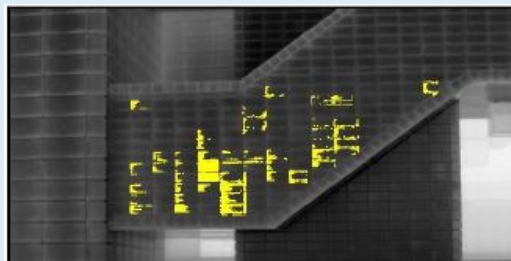


- ・ 商業店舗、流通店舗等の開発行為の設計
- ・ 雨水排水流量の検討、雨水貯留浸透施設の検討
- ・ 造成工事土量計算
- ・ 道路法第24条工事施工承認
- ・ 各種擁壁の検討及び詳細設計

赤外線外壁調査



- ・ 建築基準法第12条定期報告に伴う外壁全面調査
- ・ ひび割れ調査併用による落下危険度判定（オプション）
- ・ ドローンによる赤外線撮影
- ・ 県内外実績多数あり



ドローン撮影

- ・ 空中より現況撮影
- ・ 屋上防水劣化調査
- ・ 空中写真測量
- ・ 太陽光発電所劣化調査



新外壁診断システム工法 (当社のシステム)

建物形状 + ひび割れ + 浮き + 剥離を一元化し報告

調査結果図 (CADデータ)

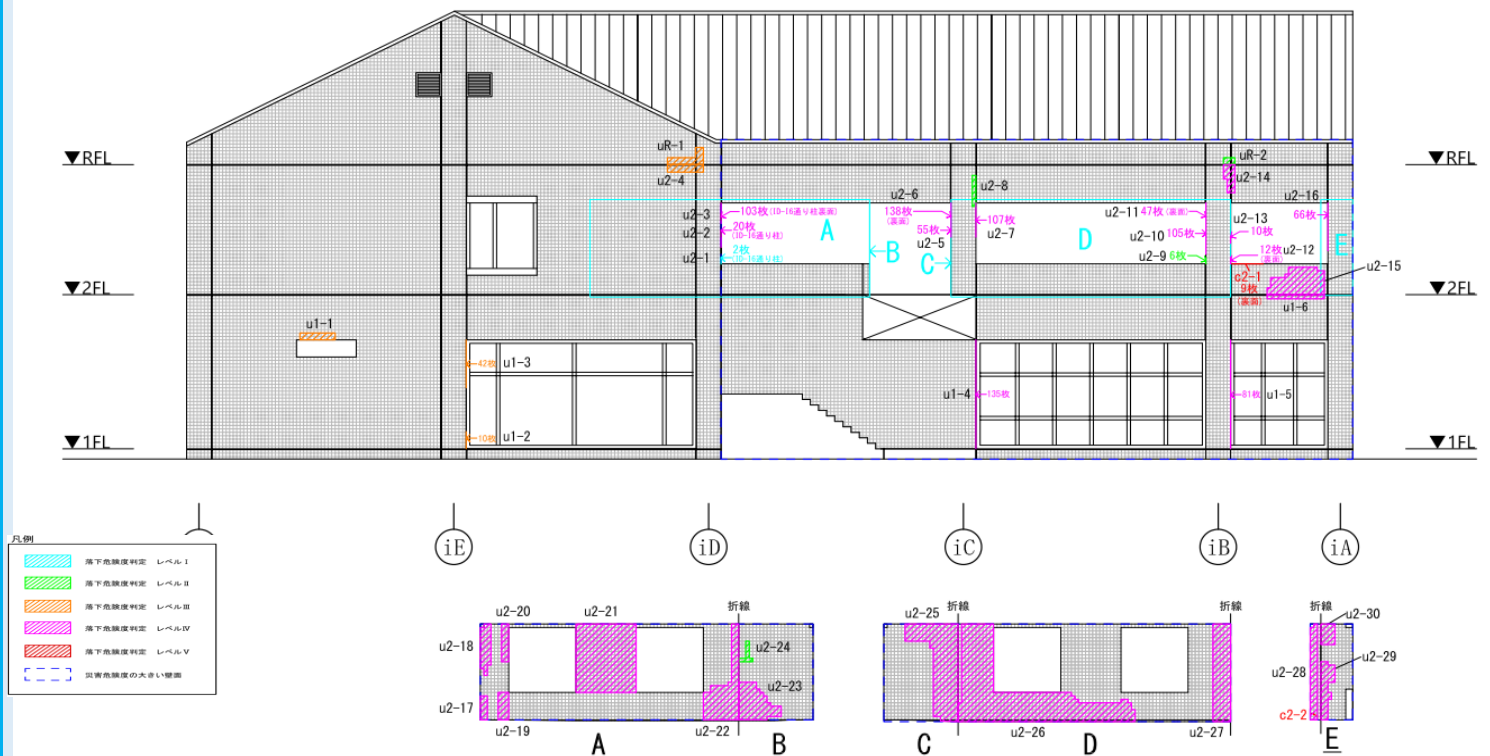


調査結果の合成

KUMONOSとTHERMO DELTA の調査結果を図面で合成することにより、総合的な評価を行うことが可能。

落下危険度判定 (オプション)

KUMONOSとTHERMO DELTA の調査結果から落下危険度の判定図を作成



落下危険度判定表

< タイル面、吹付け仕上げ面共 >

		浮きの面積			
		0㎡～0.04㎡未満	0.04㎡～0.1㎡未満	0.1㎡～0.25㎡未満	0.25㎡以上
ひび割れ幅	なし	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
	0.2mm未満	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
	0.2mm以上	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ	レベルⅤ
	剥落・欠損 または剥離する浮き	レベルⅤ	レベルⅤ	レベルⅤ	レベルⅤ

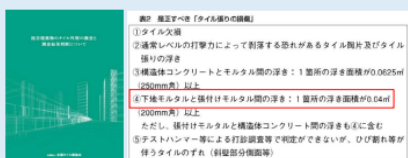
災害危険度の大きい壁面におけるレベルⅢ相当の損傷は緊急度が高いものとして、レベルⅣの判定とする。

危険度評価例

区分	評価例
レベルⅠ	無影響でないと考えられる。
レベルⅡ	継続的な観察が必要と考えられる。
レベルⅢ	補修を行うことが望ましいが、第三者へ直接的な被害を及ぼさない範囲。
レベルⅣ	早期の補修が望ましい。
レベルⅤ	直ちに補修が必要と考えられる。(既に剥落や亀裂等が生じている箇所)

浮きの面積について

社団法人全国タイル業協会
『既存建築物のタイル外壁の調査と調査結果判断について』
0.25㎡ (500mm角) を引用
0.10㎡ (316mm角) を引用
0.04㎡ (200mm角) を引用



お問い合わせ先

水戸技術設計
コンサルタント
Mito Technology Design Consultant



茨城県建築士会 賛助会員 茨城県建築事務所協会 賛助会員

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町276-5

(有)水戸技術設計コンサルタント

TEL : 029-248-7722 FAX : 029-248-7716

URL : <https://mito-g.co.jp/>

(担当：山田 真一)

E-Mail : mito-g_office@mito-g.co.jp